令和８年度卓越した技能者（現代の名工）の被表彰者の決定について

令和８年度の「卓越した技能者」（現代の名工）として、香川県から以下２名の厚生労働大臣表彰が決定しました。

1. 被表彰者の概要（※令和８年 11 月１日現在）

- 大川原　誠人（おおかわはら　まこと）氏（64 歳）
  - ・職種：染物・仕上工
  - ・所属：有限会社大川原染色本舗
  - ・功績：讃岐のり染（筒描き、印染）において優れた技能を有している。もち米から作ったのりを筒先から搾り出しつつ筆のように操り、細やかな線による各種デザインや文字の表現を成し遂げる技能により、香川県の獅子舞文化に必須の油単をはじめ、各種染製品の制作に精力的に活動している。社内での後継者育成に留まらず、全国印染経営研究会において会長、現在は相談役の任を務め、全国の印染の製造現場における技能指導等を行う。各種ワークショップ等の講師を引き受け、普及啓発にも積極的に取り組む。

- 大澤　兼治（おおさわ　けんじ）氏（49 歳）
  - ・職種：アーク溶接工
  - ・所属：株式会社タダノ
  - ・功績：多種類の建設用移動式クレーンの製造で培った、卓越した溶接技能を有する。会社内で移動式油圧クレーンの最も重要な部品であるブームＡｓｓｙ(アッシー)やキャリアフレーム（車体の骨格）等車両全般の製造、生産活動を熟知している。日々技能の研鑽にも努め、職場の第一線の監督者として活躍しながら、効率の良い溶接材料を開発するなどより良い製品作りと、厚生労働省「ものづくりマイスター」として、県内の溶接技能者に実技指導を行い技能者の育成に向けた諸活動を積極的に推進している。

2. 表彰式
   - ・　期日：令和８年 11 月９日（月）午後２時から３時まで
   - ・　場所：リーガロイヤルホテル東京（東京都新宿区戸塚町 1-104-19）

裏面へ続く

3.　「卓越した技能者」表彰制度の概要

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めること、さらに、広く技能者の模範として、将来を担う優秀な技能者の確保・育成を進め、優れた技能を次の世代に承継していくことを目的としている。

昭和 42 年度に第 1 回の表彰が行われて以来、本年度の第 60 回の表彰までで 7,517 名が表彰されている（本県では、昭和 47 年度から 54 名が表彰)。

別紙あり